



お宮参りは、住んでいる土地の守り神である産土神（うぶすながみ）に赤ちゃんの誕生と健やかな成長をお願いする行事です。「初宮参り（はつみやまいり）」「産土参り（うぶすなまいり）」とも呼ばれます。男の子は生後31～32日、女の子は生後32～33日目の天候の良い日にするのが良いとされています。ですが、日数にはそこまでこだわる必要はありません、母子の体調や一緒にお参りに行く人の予定を優先して問題ありません。夏の暑い時期や冬の寒い時期も避けて、行きやすい季節に延ばす方もいらっしゃいます。お兄ちゃんやお姉ちゃんの七五三と併せてお参りする方もいます。

想ひで惟い（おもいでおもい） お宮参り ～記念日の想いでをデザインする着物レンタル～ **KANEMATA ANNIVERSARY STYLEBOOK**



カネマタ衣裳店 スタッフ一同



ネットレンタル
お宮参り
ネットレンタル
訪問着・色無地



ネットレンタル
お宮参り
ネットレンタル
訪問着・色無地

この度は誠におめでとうございます。

この冊子は、記念日の意味合いや所作を知つていただくこと、記念日をより一層、有意義に過ごしていただくために生まれました。衣裳を貸すだけではなく、

皆様の記念日の想いでをデザインできたのなら幸いです。
良き一日となることを願つております。



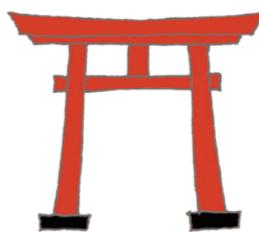
◎大安の日じゃないとダメ？

六曜と神社は何の関係もないと言われています。あくまでも日程を決める参考までに考えて大丈夫です。大安でなくても、先勝、先負、赤口、友引、仏滅どの六曜で行っても問題ありません。



◎どこへ行つたらいいの？

どこの神社にお参りしても大丈夫です。昔は新しい氏子（うじこ）として祝福を受けるため出生地や住んでいる地域の氏神様の神社が一般的でしたが、現在では、そこまでこだわる必要はありません。



昔は赤ちゃんと両親、父方の祖母だけ、赤ちゃんと父親、父方の祖母だけで行っていました。しかし現代では、赤ちゃんと両親、両祖父母で行くのが一般的です。両祖父母が遠方住んでいたり、体調が良くないなどの場合は、赤ちゃんと両親だけで行くこともあります。実際に誰をどこまで呼ぶかは両家で相談の上、決定するのがオススメです。

小物は
必要な
なの?

絶対に必要なものではないので、無くても大丈夫です。ただ、一つ一つに意味があり、赤ちゃんのこれからを願う思いが込められているので、おすすめです。

お守り袋

お宮参りの際に神社からいただいたお守りを入れるための袋です。女の子は赤の房、男の子は白の房の物を使います。ほとんどの物に鶴の刺繍があり、「鶴=長生きの象徴」から子供の長生きを祈る願いが込められています。

でんでん太鼓

でんでんという音には子供を喜ばせると同時に、悪霊を祓う意味があり、誕生のお祝いとして贈られたともあります。丸い形には「角がなく落ち着いて、穏やかな表裏の無い人に育って欲しい」という願いが込められています。

のし扇子

扇子は末広がりの縁起のいい形から別名「末広」とも呼ばれています。白い麻の紐には、髪が白くなるまで長生きして欲しいという願いが込められています。

犬張子

犬は出産が軽いため、安産を願う象徴とされてきました。また、子犬のようにすくすくと育てほしいという願いも込められています。

紐錢

関西中心の習わしで、「一生お金に困らないように」という願いを込めて親戚や近所の親しい方からいただいたご祝儀袋のことです。穴を開け、紅白か金銀の水引や麻紐を通して着物の紐に結びつけるようにしておきます。



CEREMONY STYLE & MANNERS

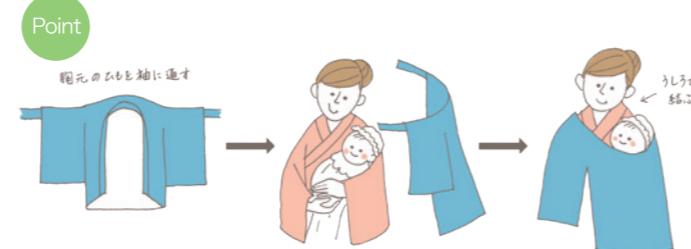
赤ちゃんの
服装は?

- 初着(祝い着)をベビードレスの上やお出かけ着の上に、母親や父方の祖母が抱っこした状態で被せます。
- 帽子やよだれかけ(スタイ)は必ず着ける必要はありませんが、紫外線や冷たい風などから赤ちゃんを守ったり、高価な着物やドレスを汚さないために着用するのがオススメです。

親や
服装は?
のりの
服装は?

- 女性は和装なら訪問着、色無地、付け下げが一般的です。洋装だとスーツ、ワンピースなど少し改まったよそ行きの格好をします。
- 男性は和装なら紋付袴、洋装ならスーツです。
- 赤ちゃんが初着の場合は家族も着物で揃える場合や、体調などを考慮して洋服で行く場合もあります。お宮参りは赤ちゃんが主役なので家族の服装が派手で目立つすぎないものであれば大丈夫です。父方の祖母が訪問着を着るなら母方の祖母も訪問着を着るなど、両家の服装の格やバランスを揃えることが大事となるので相談しておくのがおすすめです。

初着
の
着せ
方



初着は
どんな柄が
いいの?

柄には一つ一つ意味や願いが込められています。ですので、「こういう人に育って欲しい」という願いを込めて柄を選ぶと、より一層お宮参りが特別なものになります。

[男の子]

鷹

はるか遠くまで見通す目には、「先を見通す力」「物事の本質を見抜く力」を持って欲しいという願いが、獲物をがっちりと掴む鋭い爪には一度掴んだ運や幸運をしっかり掴んで離さないという意味が込められています。また鷹は鷹狩りという狩猟に使われる賢い鳥です。鷹狩りは古くから身分の高い人たちに好まれた権威の象徴でした。そこから男の子の出世を願う思いも込められています。

兜・軍配

兜には、大事な頭を保護することから邪気や災厄から男の子を守り、健やかな成長を願うお守りとしての意味があります。軍配は、軍のトップである武将や厚く信頼する軍師の持つ物です。軍や組織を動かすリーダーのように、知力や決断力、行動力に溢れた子に育てて欲しいという願いが込められています。

打ち出の小槌

打出の小槌には、願い事を唱えながら振ると様々な物が出てくるとされ、一生物に困らないように。願いが叶うようにという意味が込められています。また、一寸法師が立派な青年になった事から、兜と同じく健やかな成長を願う柄です。

[女の子]

桜

日本の国花である桜は、稻作の神が宿る五穀豊穣の意味があります。また年度初めの春に咲くことから、物事や物語の始まりに縁起がいいとされています。

毬

平安時代に流行した蹴鞠は貴族の遊びであったことから、鞠は高貴さや気品を表す物です。丸い鞠にはその形から丸く収まる、丸々と健やかに成長しますようにという願いが込められています。

束ね熨斗(のし)

束ね熨斗は、熨斗を細長く帯状にした熨斗文をいくつも束ねたものを指します。これは多くの人から祝福を受けていること、またその幸せを周囲の人たちと分かち合って欲しいという意味があります。この文様は贈り物としての気持ちや、人ととの絆、繋がりを表し、その長さから長寿の象徴でもある、めでたい柄です。



○当日までの準備は?

お宮参りの際、通常の参拝とお賽銭だけでも大丈夫ですが、祈祷やお祓いを受けて祝詞をあげてもらう場合は、事前に神社の予約が必要です。その時、祈祷の料金も併せて聞いておくのがオススメです。決まった値段がない場合は5,000～10,000円ぐらいを包む事が多いようです。封筒か祝儀袋(紅白、蝶結び、熨斗なし)の上段に「初穂料(はつほりょう)」もしくは「玉串料(たまぐりょう)」と書き、下段に赤ちゃんの姓名を書いて、お礼として当日渡します。

○会食はいつ?

母子の体調優先で、状況により判断して大丈夫です。お宮参り後、レストランや自宅で会食するケースが多いです。家族が遠方に住んでいて集まりにくい場合は、時期を調整してお食い初めも一緒にすることもあります。



○当日赤ちゃんは誰が抱くの?

昔はお産が汚れたもので、母親は忌明けをしてないという考えから、父方の祖母が抱くのが一般的でした。また、母親の体調を気遣ってこの風習が出来たとも言われています。今ではしきたりにこだわりすぎる必要はないので、母方の祖母や母親が抱いても問題ありません。